

この勉強会の講演記録は「臨床評価」第45巻4号（2018年2月下旬刊行）に掲載されます。
下のページに詳細情報・申込み用紙があります。

第117回くすり勉強会

「提報者－韓国 人クローン胚由来 ES 細胞ねつ造事件をめぐる内部告発者の証言」

2017年3月4日（土）14：30～17：30（終了後懇親会有）

ホテルマイステイズ御茶ノ水コンファレンスセンター 【要・事前申込み、定員になり次第締切】

Information in English is in the next page.

■話題提供：Professor Young-Joon Ryu（発表は韓国語及び英語、日本語通訳・解説付き）

■日本語通訳及び解説：Dr. Younjin Rhee

■趣旨：

韓国ソウル国立大学で起こった人クローン胚由来の ES 細胞ねつ造事件は世界的な大スキャンダルとなり、その後、韓国では生命倫理安全法の拡充により人を対象とする研究が広く法的に管理される体制となりました。

韓国の整備された研究管理体制については既に日本に紹介されていますが、今回、ねつ造データを発表したソウル国立大学ファン・ウソク教授（当時）の教室において、この事件の「内部告発者」として事件の渦中にあった Professor Young-Joon Ryu を招き、事件の真相を語っていただく勉強会を企画しました。

「提報者」は韓国語で「内部告発者」の意味ですが、このタイトルによる映画は日本でも公開されています。Professor Ryu の生の声を聴き、韓国のアカデミア、社会、政治、ジャーナリズムの激動を伝えていただきます。貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

※参考

Professor Ryu を紹介している *Nature* の記事：

http://www.nature.com/polopoly_fs/1.14598!/menu/main/topColumns/topLeftColumn/pdf/505593a.pdf

韓国生命倫理安全法に関する論文：http://cont.o.oo7.jp/40_1/p79-90.pdf

■開催場所：ホテルマイステイズ御茶ノ水コンファレンスセンター

東京都千代田区神田淡路町 2-10-6 TEL：03-5289-3939

地下鉄丸ノ内線「淡路町」駅 A3 出口より徒歩 3 分；地下鉄銀座線「神田」駅 6 番出口より徒歩 8 分；

地下鉄都営新宿線「小川町」駅 A3 出口より徒歩 3 分；地下鉄千代田線「新御茶ノ水」駅 B2 出口より徒歩 5 分；JR「御茶ノ水」駅下車聖橋口より徒歩 5 分；JR「秋葉原」駅下車電気街口より徒歩 6 分

https://www.mystays.com/ja/hotel/tokyo/hotel-mystays-ochanomizu/?nid=a_map_sp_jp_ms_ocm&ga=1.127592781.1309855860.1467786707

■参加費：2,000 円 懇親会：5,000 円

■参加申込み方法（事前申込み必須）：

(1) お名前 (2) ご所属またはお仕事等 (3) 連絡先 e-mail アドレス (4) 懇親会の参加・不参加を明記の上、栗原までお申込みください。：chieko.kurihara@nifty.com

* 申込み時の情報は、参加者・講演者・主催者間で共有されます。

関連情報のお知らせ以外に利用することはありません。

くすりネット・くすり勉強会

事務局：臨床評価刊行会

Conference title:

The 117th Pharmaceutical Study Group Conference

Topic title:

“Teihousha”—The testimony of the whistle-blower of scientific misconduct of human cloning embryonic stem cell research in Korea

Date:

March 4, Saturday, 2017 13:00~17:30 (Open conference is 3 hour in this time frame)

Presentation by: Professor Young-Joon Ryu

(Talk is in Korean, presentation is in English. Discussion in English is acceptable.)

Interpretation and commentary: Dr. Younjin Rhee

Conference objectives:

Scientific misconduct of human cloning embryonic stem cell research which happened in Korea was world-known big scandal of science, and later on, Korean government expanded the scope of the Bioethics and Safety Act to cover wide range of human subject research.

Research governance system in Korea has been already introduced to Japan but this Conference is precious opportunity to invite the whistle-blower, Professor Young-Joon Ryu, who used to work at the laboratory of Woo Suk Hwan, Seoul National University, who published the fabricated data.

The film titled “Teihousha” (whistle-blower), actual story of Professor Ryu was released not only in Korea but also in Japan.

The real talk of Professor Ryu will convey dramatic society of Korean academic research community, society, politics and journalism.

For your reference:

Article in Nature to introduce Professor Ryu:

http://www.nature.com/polopoly_fs/1.14598!/menu/main/topColumns/topLeftColumn/pdf/505593a.pdf

Article of an organizer on Korean Bioethics and Safety Act:

http://cont.o.oo7.jp/40_1/p79-90.pdf

Venue:

HOTEL MYSTAYS Ochanomizu Conference Center

2-10-6 Kandaawajicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0063 Japan, +81-3-5289-3939

https://www.mystays.com/en/hotel/tokyo/hotel-mystays-ochanomizu?_ga=1.231918687.1309855860.1467786707

Registration fee: 2,000 yen

Advanced registration is required by e-mail to: chieko.kurihara@nifty.com

45-4 CIOMS 人間を対象とする健康関連研究の国際的倫理指針 他

巻頭言 **【web 公開予定】**

栗原千絵子

1. 創薬・開発と育薬のパラダイムシフト（第2回）

1. 原著：我が国発の3種の新規抗体医薬品のFDAとEMAでの承認タイミング及び効能・効果の比較
森本 和滋, 小林 哲, 柴田 寛子, 石井 明子

2. 生命倫理と研究倫理の過去・現在・未来（第5回）

・論文

1. 原著：治験／臨床研究に起因する健康被害の治療に対する公的医療保険制度の適用について
鍋岡 勇造, 栗原千絵子, 三村まり子, 小池 竜司, 渡邊 裕司
2. 論説：軍事関連人対象研究の倫理と管理のあり方（第1報）問題設定と米国の関連規定の分析からの基本論点の抽出
礒島 次郎

・講演録

1. 招聘講演：提報者－韓国における人クローン胚由来ES細胞ねつ造事件をめぐる内部告発者の証言：「真実は容易に葬り去られる」
Young-Joon Ryu

・翻訳

1. 人間を対象とする健康関連研究の国際的倫理指針
国際医学団体協議会（CIOMS）
（栗原千絵子，齊尾武郎，訳．渡邊裕司，監修）

編集後記 **【web 公開予定】**

礒島 次郎

申込み先 FAX : 03-5489-6517 / e-mail : cont@nifty.com

各特集号 定価 : 5,000 円 ; アカデミア 3,000 円 +税・送料

在庫がある限りのご提供となります。

「臨床評価」他の号のご案内 : <http://cont.o.oo7.jp/specialissue.html>

■申込み書

45-4 広報 HP

●購入希望号を明記の上、ご希望冊数をご記入ください：

●お名前・ご所属：

●送付先ご住所〔請求書の御宛名が上記と異なる場合は明記してください〕：

●ご連絡先 (tel, fax, e-mail)：